

精魂を込めてピアノを再生し、お客様の信頼を得る

伊藤さんは、これまで優れた技術で様々な古いピアノを再生してきました。

自ら「ピアノマイスター」を名乗り、ピアノの修理だけでなく仕事にかかる事柄すべてに誇りと責任を持ちたいと語ります。また独力でミニホールを建設するなど、地域の音楽拠点づくりにも力を入れています。

ピアノ調律師として修業を積み、独立して開業

伊藤さんは「仙台ピアノ工房」で、調律や修理をはじめ、ピアノにかかる様々なお仕事をされていました。仙台ピアノ工房」を

た。その後、同じ盲学校の高等部に設けられていたピアノ調律科で学びました。ピアノ調律科を選んだのは、音楽が好きだったことに加え、子どものころから機械の分解や組み立てにも興味があったからです。

高等部を卒業した後、静岡県のピアノメーカーで1年間の研修を受けました。そのメーカーは、私が学んだピアノ調律科の卒業生を研修生として受け入れていたのです。研修を終えた後、盛岡にあったメーカー系列の代理店に勤めました。そこでは



ピアノマイスター
伊藤正男さん

PROFILE

いとう まさお ●昭和33年、山形県生まれ。山形県立盲学校高等部ピアノ調律科を卒業し、ピアノメーカーで1年間にわたり研修を受ける。研修修了後、同メーカー系列の代理店に調律師として勤務。その後オーストリアのピアノメーカーであるベーゼンドルファーの輸入代理店に移り、後に独立。仙台近郊で「仙台ピアノ工房」を開き、調律・修理のほか、購入の仲立ちや買い取り、レンタルなどピアノに関する様々な仕事を手掛ける。独力でコンサートホール「木造ドーム」を建設し、地域の音楽振興にも尽力している。

3年あまり、ピアノがあるお宅を訪問し、調律するという仕事をしました。やがてピアノの調律や修理について更に深く勉強したいと思うようになりました。やがてピアノの輸入代理店に転職しました。その会社は世界三大ピアノの1つに数えられるオーストリアのベーゼンドルファーの輸入代理店です。ここで調律や修理などのほか、ピアノに関する様々な仕事を経験しました。そして調律師として独立して東北で仕事をした



伊藤さんのブログ「仙台ピアノ工房のお仕事日記」(<http://blog.sendai-piano.com/>)。お仕事の様子が貴重な写真と共に紹介されている。また、木造ドームでのコンサートのプログラムなども掲載されている。ほかに仙台ピアノ工房のホームページ(<http://www.sendai-piano.com/>)もある。



チューニングハンマーを使い、弦の張りを調整する。こうしてすべての弦の音律を整える。

私が36歳のときです。

——メーカーの系列店を離れ、海外の高級ピアノを輸入する代理店で働くようになられた。それは伊藤さんにとってどのような意味を持つていますか。

伊藤 この業界は、各メーカーがその傘下に系列の代理店を組織し、自社のピアノ販売のほか、調律や修理などのサービスを行うのが一般的です。私は務めていたメーカー系列の店を離れ、輸入ピアノを扱う代理店に移つたので、日本製だけでなく海外で作られた様々なブランドのピアノの特性も把握できるようになりました。メーカーの垣根を越えて調律や修理ができるようになり、自分

にとつて大きなプラスとなりました。——独立するに当たって不安のようないものはありませんでしたか。

伊藤 当初は家族を静岡に残して、単身で仙台の近郊に移りました。未知の土地でピアノの調律や修理という仕事をして、生活が成り立つかどうか不安があつたからです。ある程度の見通しができるようになつたのは1年あまり経つたころでようか。それで子どもたちの進学時期に合わせて家族を呼び寄せました。当時、同業者仲間にはずいぶん助けられました。

こちらに移つて最初の大掛かりな仕事は仙台市内のレストランに備えるグランドピアノの修理でした。才

——かつてと比べるとピアノがある家庭は少なくなっています。お仕事を取り巻く状況は厳しくなっているのではないかですか。

伊藤 たしかに厳しくなっています。最近は環境重視が叫ばれ、新品を購入するよりもリユースが社会的な価値を持つようになつてきています。ピアノも例外ではありません。

——ナードはコーラスを趣味とされ音楽に対する造詣も大変深い方で、オーブンするレストランにぜひグランドピアノを置いて演奏会を開きたいという構想を持っておられました。それで私に声を掛けいただき、愛知県の中学校で廃棄処分になつたピアノを譲り受け、修理をして設置しました。その後も演奏会があるたびに調律を任せています。このレストランのピアノの修理・調律を受け持つようになって以後、「あそこで見たから」という方から次々と依頼を受けるようになり、私の仕事も次第に広がつていきました。

ピアノをよみがえらせる 全力を注ぎ込み、

——かつてと比べるとピアノがある家庭は少なくなっています。お仕事を取り巻く状況は厳しくなっているのではないかですか。

伊藤 たしかに厳しくなっています。最近は環境重視が叫ばれ、新品を購入するよりもリユースが社会的な価値を持つようになつてきています。ピアノも例外ではありません。

——独立するに当たって不安のようないものはありませんでしたか。

伊藤 たしかに厳しくなっています。最近は環境重視が叫ばれ、新品を購入するよりもリユースが社会的な価値を持つようになつてきています。ピアノも例外ではありません。



鍵盤の重さを鉛で調整。鍵盤は重すぎても軽すぎても弾きづらい。このためお客様の意向に従って鍵盤が下がるときと上がるときの重さを測定しつつ、調整する。

リユースの価値を認めるお客様が増えてきているのです。ピアノは使えば使うほど、その人には馴染んできてかけがえのない存在になります。しかし時間の経過と共に部品の劣化は避けられません。その部品を交換し、本来の音を引き出すことが私の役割です。ピアノはきちんととした修理さえすれば、50年以上、ときには100年近くも使い続けることができます。まさにリユースにふさわしい楽器です。

—ピアノを修理するときのプロセスを教えてください。

伊藤 お客様からご依頼をいただいたら、まずどこに問題があるのか

になります。しかし時間の経過と共に部品の劣化は避けられません。その部品を交換し、本来の音を引き出すことが私の役割です。ピアノはきちんととした修理さえすれば、50年以上、ときには100年近くも使い続けることができます。まさにリユースにふさわしい楽器です。

—ピアノを修理するときのプロセスを教えてください。

伊藤 お客様からご依頼をいただいたら、まずどこに問題があるのか

になります。しかし時間の経過と共に部品の劣化は避けられません。その部品を交換し、本来の音を引き出すことが私の役割です。ピアノはきちんととした修理さえすれば、50年以上、ときには100年近くも使い続けることができます。まさにリユースにふさわしい楽器です。

—ピアノを修理するときのプロセスを教えてください。

伊藤 お客様からご依頼をいただいたら、まずどこに問題があるのか

になります。しかし時間の経過と共に部品の劣化は避けられません。その部品を交換し、本来の音を引き出すことが私の役割です。ピアノはきちんととした修理さえすれば、50年以上、ときには100年近くも使い続けることができます。まさにリユースにふさわしい楽器です。

を確認するために様々なデータを集めます。そのデータに基づいて必要な部品を発注し、解体します。その後外装に傷や汚れがないかを確かめ、内部も点検します。塗装をはがして塗り替えるころには発注した部品が届きます。部品を組み込み外装を研磨した後、組み立てに取り掛かります。組み立てが終わったら調律に入ります。

ピアノは組み立てが終わったらといって、それで出荷できるわけではありません。ピアノに張られる弦には高い張力があり、楽器としてのクオリティを高めておかないと、すぐには音が狂ってしまいます。これをおろそかにすると、お客様にお届けした後で、音に狂いが生じてしまうということにもなりかねません。どうしても一定期間のシーザーニング(慣らし)が必要です。

—ピアノは機種によってそれぞれの特色があり、修理も大変なのではないでしょうか。

伊藤 確かにメーカーや機種、国産品か輸入品かによつてもそれぞれ特色があります。しかし基本的な設計や構造にそれほど大きな違いはありません。ピアノが現在の形になつ

たのは150年ほど前ですが、それ

以来基本的な構造に大きな変化はありません。日本はピアノの製作や修

理の技術をドイツから学びました。

だから今でも日本の各メーカーはドイツ仕様でピアノを製作しています。そのため基本を押さえれば様々な応用が可能で、メーカーや機種が異なるピアノでも1人で修理ができる

ます。

—ピアノを修理されるときは、ど

んな思いでお仕事をされるのです

か。

伊藤 ピアノの修理に対する考え方方は人によって様々でしょう。とりあえず直して使えればそれでかまわない「間に合わせの修理」とでも呼んでしまいたくなるような考えもあります。私はそういう姿勢はとりません。せっかくリユースのために修理をするのであれば、さらに20~30年、安心してお使いいただけるようなどピアノとしてよみがえらせ、お客様へお届けしたい。だから大抵の場合、私の修理は大掛かりになります。お預かりしたピアノは、1~2ヶ月をかけて私の持てるだけの労力を注ぎ込んで修理し、調律をします。そしてピアノをお届けすると、お客様は体で喜びを表現してくださいます。それはとてもうれしいことです。

ピアノにはお客様の様々な思いが詰まっています。例えば大学の音楽科に合格し、そのお祝いにおじいちゃんが買ってくれたピアノだから長く使いたいとおっしゃる方もいらっしゃいます。私の仕事は、そうしたお客様の願いを叶えることでもあります。

—ピアノを修理信託基地として

コンサートホールを建設

—コンサートホールとして「木造ドーム」を建てられましたね。様々な演奏会やセミナー、展示会が開かれているようですが、そこには伊藤さんのどんな思いが込められているのでしょうか。

伊藤 修理を終えたピアノの音の確認を音響が優れているホールで行いたい。これは長い間の私の夢でした。作業場では、本来はこんな音だろうと想像しながら確認するのですが、実際はそれが正しいかどうかは分かりません。このホールには私の仕事の最終段階に際して本当の音を

たのは150年ほど前ですが、それ以来基本的な構造に大きな変化はありません。日本はピアノの製作や修理の技術をドイツから学びました。だから今でも日本の各メーカーはドイツ仕様でピアノを製作しています。そのため基本を押さえれば様々な応用が可能で、メーカーや機種が異なるピアノでも1人で修理ができる

ます。

—ピアノは機種によってそれぞれの特色があり、修理も大変なのではないでしょうか。

伊藤 確かにメーカーや機種、国産品か輸入品かによつてもそれぞれ特色があります。しかし基本的な設計や構造にそれほど大きな違いはありません。ピアノが現在の形になつ

たのは150年ほど前ですが、それ以来基本的な構造に大きな変化はありません。日本はピアノの製作や修理の技術をドイツから学びました。だから今でも日本の各メーカーはドイツ仕様でピアノを製作しています。そのため基本を押さえれば様々な応用が可能で、メーカーや機種が異なるピアノでも1人で修理ができる

ます。

—ピアノを修理信託基地として

コンサートホールを建設

—コンサートホールとして「木造ドーム」を建てられましたね。様々な演奏会やセミナー、展示会が開かれているようですが、そこには伊藤さんのどんな思いが込められているのでしょうか。

伊藤 修理を終えたピアノの音の確認を音響が優れているホールで行いたい。これは長い間の私の夢でした。作業場では、本来はこんな音だ

ろうと想像しながら確認するのですが、実際はそれが正しいかどうかは

分かりません。このホールには私の仕事の最終段階に際して本当の音を

INTERVIEW

しごとインタビュー

木造ドームの概観とその内部。部材をカナダから取り寄せて建設され、音響効果も専門家から高い評価を得ている。木造ドームでは演奏家を招いてのミニコンサートのほか、様々な催しが度々開催されている。



確認するための実験場としての役割があります。また妻が開いているピアノ教室に通う子どもたちの発表会の場としても利用したいという思いもありました。

また「木造ドーム」では、内外から様々な演奏家を招き、小さなコンサートを開いています。この地域では住民たちが生の音楽に親しむ機会が少なく、寂しいと思うことがあります。木造ドームで開くコンサートは、こうした地域で音楽の素晴らしさを発信するための試みです。個人の力でできることには限界があるでしょう。しかし私はより多くの方たちに音楽に直に接していただき、その素晴らしさを味わっていただきたいのです。

「ピアノマイスター」を名乗つ

仕事で喜びを感じられるように感性を醸成することが大切

近頃はなかなか仕事に就かなかつたり、就職してもすぐに辞めてしまつたりする若者が増えているよう

また「木造ドーム」では、内外から様々な演奏家を招き、小さなコンサートを開いています。この地域では住民たちが生の音楽に親しむ機会が少なく、寂しいと思うことがあります。木造ドームで開くコンサートは、こうした地域で音楽の素晴らしさを発信するための試みです。個人の力でできることには限界があるでしょう。しかし私はより多くの方たちに音楽に直に接していただき、その素晴らしさを味わっていただきたいのです。

「ピアノマイスター」を名乗つ

肉屋さんの商店主でも、おいしいお肉を売るだけでなく、きちんと衛生管理をして社会的な責任を果たしているからマイスターと呼ぶことができます。つまりマイスターとは自分の仕事にかかるあらゆるサービスを、責任を持って遂行できる人という意味です。仕事にかかる全責任を担い、社会的な貢献を果たす人こそ本来のマイスターです。だから私はピアノの調律や修理だけではなく、自分で営業もするし、経理もします。

ていらっしゃいますね。

伊藤 日本でマイスターという

と、「優れた技術の持ち主」という点だけがクローズアップされている

ように思います。本来のマイスター

とは、優れた技術を持っていることはもちろん、その周囲の仕事もきちんとこなし、社会的責任を果たせる人ことを指しています。例えばお

肉屋さんの商店主でも、おいしいお

肉を売るだけでなく、きちんと衛生管理をして社会的な責任を果たしているからマイスターと呼ぶことができます。つまりマイスターとは自分の仕事にかかるあらゆるサービスを、責任を持って遂行できる人

という意味です。仕事にかかる全責任を担い、社会的な貢献を果たす人こそ本来のマイスターです。だから私はピアノの調律や修理だけではなく、自分で営業もするし、経理もします。

です。こうした状況をどのようにお考えでしょうか。

伊藤

今の時代、若者たちは多く

の情報にたやすく接触できます。こ

のため何でもできるかのように錯覚

しているのではないかと思うことがあります。

しかし、情報を知つてい

ることと何ができるということと

の間には大きな隔たりがあります。

仕事においても情報に基づく知識だ

けでやろうとする傾向があるのでは

ないでしようか。私は音楽に関係す

る仕事をしているだけに、若者たち

はそれなりの知識を持つているけれ

ど感性が劣化しているのではないか

か、と思うことが度々あります。そ

れは感性を醸成するための教育シス

テムが整っていない社会の問題でも

あるのですが…。だから仕事で喜び

を感じることができにくくなっています。

仕事で喜びを感じられるように感性を醸成することが大切

近頃はなかなか仕事に就かなかつたり、就職してもすぐに辞めてしまつたりする若者が増えているよう

です。こうした状況をどのようにお考えでしょうか。

伊藤

今の時代、若者たちは多く

の情報にたやすく接触できます。こ

のため何でもできるかのように錯覚

しているのではないかと思うことがあります。

しかし、情報を知つてい

ることと何ができるということと

の間には大きな隔たりがあります。

仕事においても情報に基づく知識だ

けでやろうとする傾向があるのでは

ないでしようか。私は音楽に関係す

る仕事をしているだけに、若者たち

はそれなりの知識を持つているけれ

ど感性が劣化しているのではないか

か、と思うことが度々あります。そ

れは感性を醸成するための教育シス

テムが整っていない社会の問題でも

あるのですが…。だから仕事で喜び

を感じることができにくくなっています。